

平成28年度木更津市社会教育委員会会議臨時会 会議録

- 1 会議名 平成28年度木更津市社会教育委員会会議臨時会
- 2 開催日時 平成29年1月16日(月)午後1時30分～4時40分
- 3 開催場所 木更津市役所朝日庁舎 会議室E
- 4 出席者名
委員：野中洋子、平田和世、榛澤敦子、板垣 勲、安藤順子、城戸富貴、青木 健、橋本ミチ子、吉田裕子、蘇我芳章、李 程英、地曳昭裕、内田慎一郎、石村比呂美、熊本秀樹(15名)
事務局：高澤茂夫教育長、堀切由彦教育部長、齋藤良二教育部次長、秋元 淳生涯学習課長、篠田貞明主幹、鈴木和代主査(6名)
行政改革推進室：土居和幸室長 渡辺主幹

5. 議題

- (1) 使用料・手数料等の見直しについて
- (2) その他

- 6 会議の公開・非公開の別及び傍聴人の数 公開・傍聴人0名

7 資料

- 資料1 行政改革推進室 説明資料
- 資料2 木更津市中期財政計画(平成29年度～平成32年度)
- 資料3 住民基本台帳に基づく人口動態(平成28年4月1日現在)
- 資料4 人口推計結果の概要

8 内 容

- 司会 それでは、これより平成28年度木更津市社会教育委員会会議臨時会を開催いたします。
委員18名中、出席者は15名でございます。従いまして、社会教育委員会会議運営規則第3条第2項の規定により、委員の2分の1以上の出席がございますので、本日の会議は成立しております。
なお、本会議は、木更津市審議会等の会議の公開に関する条例により公開されております。本日の傍聴人はおりません。以上報告いたします。
- 蘇我議長 それでは、協議に先立ちまして、蘇我議長よりご挨拶をお願いいたします。
本日は多くの委員の皆さんにご出席いただきありがとうございます。
今回も土居室長、渡辺総括に同席いただきます。皆さんに分かりやすいように、もう一度説明をしていただきます。「俯瞰」という言葉がありますが、これは、物事の見方として、上から見る、全体像を見て、自分たちの方向性を決め、それに向かって努力をしていくということです。
今日は、事務方も分かりやすいように資料を準備してくださいました。今は公民館のターニングポイントになるような気がします。これから日本中の社会教育がどちらの方を向いていくのか、という時期に来ています。知恵を寄せ集めれば、何とか良い方向に行くのではないかと、期待を持っておりますので、委員同士でも忌憚のない意見交換をしていただきたいと思います。
- 司会 続きまして、高澤教育長よりご挨拶を申し上げます。
- 高澤教育長 皆さんこんにちは。早いもので小正月を迎えました。本年もよろしく願いいたします。
さて、今、議長から会の主旨についてお話がありました。前回、論議の入り口のほうをもう一度確認したいというお話がありましたので、その辺も含め、土居室長のほうから再度の資料提示も含めてお話があるかと思っております。ぜひ皆さんのご意見をいただければ有り難いと考えています。
公民館につきましては、私が言うまでもなく、社会教育法に位置付けられた教育施設です。市民の皆さんの学習の場、交流の場、まちづくり、人づくりにも通じるような施設だと考えています。これからの公民館の有様について、社会教育というところの観点をしっかり押さえながら、論議をしていきたいと考えています。
本市の公民館の維持管理の状況、市の財政状況、さらには市の今後の公共施設の有様、また、現在既に減免等も含めて有料化になっている社会教育の他の施設、例えば市民体育館、市民会館

などとのバランス、市税の公平感等、かなり多くの条件がありますので、そういった条件を論議の中に加味していただいて、先ほど議長からありましたように、大局的な場面で皆さんのご意見がいただけたら有り難いと思います。長時間になるかもしれませんが、十分皆さんのご意見をいただきたいと思いますのでよろしくお願ひいたします。

司会 ありがとうございます。それでは協議に入って参りたいと存じます。
今後の進行につきましては、木更津市社会教育委員会議運営規則第2条第4項により議長にお願ひいたします。それでは蘇我議長よろしくお願ひします。

蘇我議長 それでは、ただ今より、始めさせていただきます。
議題1「使用料・手数料等の見直しについて」です。
前に聞いたお話もございしますが、整理をする意味で行政改革推進室よりご説明いただき、その後、皆様からのご意見を伺いたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。
それでは土居室長よろしくお願ひいたします。

土居室長 こんにちは。公民館などの施設の有料化、使用料について、十分な議論がなされていないということですので、これからどんどん議論させていただきたいと思います。
木更津市に限らず、どこの自治体でも施設はこれから人口減少に向かう中では維持できるような数量ではありません。「維持できる」というのは「全て同じように更新する」にはお金が足りないということです。それらを踏まえながら、それらに充てられる財源等についても今後どのくらい見込まれるのかも含めてご説明させていただきます。

説明

蘇我議長 行政改革推進室の皆さんありがとうございます。それでは、まず聞いたばかりなので、ご質問がございましたら、お聞きしたいと思います。いかがでしょうか。

内田委員 全体像としてある程度把握できたと思います。今後15年～25年の間に大部分が建て替え、と理解させていただきました。今後、全部建て直すために、学校施設、社会教育施設は1,200億円の中の何億円かかるのか教えてください。

土居室長 1,200億円は単純に床面積当たりいくらということを出していますが、それぞれの学校にいくらかかるということでは積み上げてはいません。

内田委員 1,200億円という全体像はわかったのですが、それを単純に今後の年数で割って、49億円が毎年足りないという話ですが、その中で、学校施設、社会教育施設が年間何億くらい逆にショートするのか、と。

土居室長 単純に、全て建て替えると1,200億円かかります。学校施設が半分ありますので、600億円くらい。単価がそれぞれ違いますので、正確な数字ではありません。また、公民館、市民会館は7%ですので84億円くらいは、それなりにかかるということです。

内田委員 先ほど、建て替える時に三中が14億円だったという話がありましたが、社会教育施設はそれとは比べ物にならない規模になると考えてよろしいわけですね。そうすると、一番鍵をにぎっているのは、学校施設となるのでしょうか。

土居室長 面積が大きい分、学校施設再編の仕方で、大きく変わってくるかとは思いますが。

熊本委員 歳入の一般財源の内訳で、全国平均から見ると、木更津市は何らかの特徴があるのでしょうか。だいたい皆これくらいの割合なのでしょうか。

土居室長 26年度に特定財源が多い理由は、補助金です。学校の耐震化、真舟小が建設されていて、そういった建設の関係で特定財源が多くなっています。市税は一般財源で、これは全国的にもこのくらいの割合ですが、工場や会社があるということは、法人税が入ってきます。木更津は法人税の収入は低いと思います。人口は伸びていますので、それに伴って入ってくるものの割合が木更津市は高いということです。

蘇我議長 今の説明に関して、ご質問はよろしいでしょうか。それでは、使用料・手数料等の見直しについてご意見を伺いたいと思います。いかがでしょうか。

地曳委員 説明をいただきましたが、額が大き過ぎて、にわかに理解できないところもあります。前回、1サークルあたり500円くらい徴収すると、年間2,500万円くらいの収入があるという話をされたと思います。そうすると30年間で6億円くらい。先ほどの84億円のうちの6億円

というのはそれ程大きな数字ではないと思います。むしろ、公民館の使用料・手数料というのは新しい市民の負担となるわけで、新しい効果を期待するには、それなりの行政側の努力、前提条件がないと苦しいものがあると思います。

先般の広報きさらづ12月号を見ると、ラスパイレス指数が出ていて、木更津市は100.7でした。まだ他に比べて多く給料を頂いているということです。全国平均が98.7ということですので明らかに高い。もちろんラスパイレス指数が低くなるように行革の方で職員数を減らし、特別手当などを抑制しているのは分かるのですが、見える形で自分たちはこれだけ努力したけれど、これ以上はできませんので皆さんご協力をお願いします、という前段があれば理解できますが、まだまだ話が大き過ぎて、目に見える、日常の中でできるような会話ではありません。

大きく行革に反対する市民はいないと思いますが、やり方、手法はまだ論議する余地があります。12月の定例会では、今16ある公民館を8にしたいということでした。16公民館は、1中学区1公民館ということで20年、30年かけて地域で積み上げた公民館の数になります。先ほど室長が教育委員会と打ち合わせをしたという話をされていましたが、16から8にするという数に対しての十分な打ち合わせがなかったように私は聞いています。そういうところも含めて、使用料も公民館の数を減らすということも、ちょっと性急です。細かいことに関してじっくり意見を交換することが大事ではないかと思います。

土井室長 ラスパイレス指数は100.7ですが、国は手当てで優遇されていて、その部分はラスパイレス指数には反映されていません。木更津市の給料が決して高いということではありません。

先ほどの公民館の再配置については、来年、再来年に8にしますということではありません。使えるのに壊すつもりもありません。ただ、修繕しきれない、耐用年数60年経って危ないとなった時に、統廃合・再編を考えましょう、となります。ですから今後5年とか10年位は、行革が行う再配置について恐らく市民の方は実感がわからないのではないかと思います。

学校施設については、「より良い教育」という問題がありますので、また話は別になります。再配置よりも「より良い教育」というものが優先されるべきだと考えていますし、行革もそのように教育委員会から話を聞いています。建て替えるときには二つを一つにしましょう。建て替えるときには公民館も一緒に入れましょう。他の施設も入れたらどうですか。というのが再配置計画の趣旨です。10年後にどういう施設の保有の仕方をしましょうという目標を立て、30年間で整備しましょうということです。

10年近く前から公民館については使用料を頂くべきではないかという議論がありました。社会教育委員会議や公民館運営審議会と同じような議論を頂いたのではないかと思います。今回、教育委員会とは頂いたお金は見える形で使えるように工夫していきましょうと話をしています。いろいろやり方を考えながら、ご理解をいただこうと考えております。

地曳委員 ラスパイレス指数の話ですが、国家公務員との比較ではなくて、全国平均が98.7なのに、今の木更津市は100を越えていますということです。事実一つの指標としてあるということです。ですから、ある程度、何年後にはこうなりますよという前提に基づかないと理解は得られないのではないかと思います。

青木委員 地域住民の皆さんは、公民館を使うことによって健康を維持できますし、市長が提案されている公民館を中心としたまちづくり協議会など、そのような活動がなくては困りますので、そういったことも含めていろいろ考えていただければと思います。

内田委員 床面積33.5万平方メートルのうち全体の25%を削減すれば、市として上手く回るのではないかという話がありました。子どもが減って、その比率からすると600億円ではなく、350億~400億で充分できるのではないかと思います。学校が今の数から減らないと仮定して、面積を今の6割、7割に減らしたら、その浮いたところで、社会教育施設も付けたら、今の見積りもりの金額よりも、もしかしたら低くなるかもしれません。数字だけでは社会は回っていきませんが、そういうところもお含みおきいただいて、今後の長期的な計画を考えていただきたいと思います。

使用料に関しては、原則有料ではなく、ある程度減免措置があるとの話がありましたが、整理する意味も含めて、どの辺りを線引きして減免するのかということをお聞かせいただければと思います。

土居室長 まず、前段の600億円ですが、今ある面積を全て建て替えると1,200億円かかるのです

が、実際には使えるお金というのが、450億円しかない。学校を全部建て替えると600億円かかるのですが、200億円しか充てられないということなので、そこは誤解のないようにしていただきたいです。600億円使えるのではなく、200億円しか使えないということです。

単純に25%減らしますというわけにはいきません。人口が少ないところの学校を全くなくすわけにもいきません。これは公民館も同じで、それらをつつにして地域のコミュニティの中心として残しましょう、というのを再配置計画の中に入れてあります。頂いたご意見を十分勘案しながら学校の中に公民館の機能を入れていくということは重要な視点だと考えています。

使用料の減免については、今、教育委員会と少しずつ議論を始めています。これは使う種類によつての減免ではなく、「〇〇会、〇〇会」は免除、というように列記をしたほうが分かりやすいかと考えています。できるだけ分かりやすい形を、これから議論をしながら決めていきたいと思ひます。

地曳委員 公民館機能を有した複合施設を造りますということを行革側が打ち出して、後は教育委員会に丸投げという形ではなく、お互いにずっと打ち合わせができるような体制をお願いしたいと思ひます。

土居室長 十分打ち合わせをしながら、計画を練っていききたいと考えています。

高澤教育長 学校の話が出ていますが、小学校については、公民館や老人施設などを取り入れて複合施設としている先進校は既に随分あります。木更津市も今、余裕教室はありますが、教室が空いているからすぐ公民館に入ってもらいましょう、老人施設を造りましょう、ということではできません。

複合化するといふのであれば、今の学校を建て替えるといふ時に、配置、導線をしっかり考へて、といふ形でない限りは無理です。今の案は30年先までの案ですので、その中で新築をせざるを得ないといふ時はそういう方向になると思ひます。

もう一つ懸念をしているのが、現在、木更津市の小中学校の子ども数の数が1万人ちょっとで、32校ありますが、大きい学校は900人規模、小さい学校は数十人規模で、平均すると350人位です。仮に一つの学校で毎年15人子どもが減るとすると、20年後に全ての学校で300人減ることになります。300人減ったら学校は成り立ちません。義務教育ですから、子どもは必ず学校に行かなくてはならない状況です。この案が出てくる前に、一つの学校として効果的な授業ができない、教育が果たせないといふ時には、子どもたちのために、これにかかわらず統廃合を進めていこうと考えています。そう考へていくと、当然30年先にはかなりの学校で子どもの数は減るでしょうし、学校としての存続が難しくなるところがたくさん出てくると思ひます。そういう状況の中で効果的な学校教育が果たせるかといふことと、今言っている再配置が一緒に組み合わせられているかと思ひますから、10年後、20年後といふ当面の見通しを教育委員会も持っています。すぐではなく将来的にはかなりの確立で否応なくそういう方向にはなると思ひます。

熊本委員 15億円を確保しないと将来の建て替えができないとなると、この15億円といふのは、今の統廃合などを含んでの話であつて、現状を維持するといふ話ではないですか。

土居室長 現状を維持するといふのであれば、今、人件費なども含めて維持管理費6.2億円くらいを使っています。その他に15億円が修繕に充てられています。真舟小建築費は2.4億円です。本当は1,200億円必要なのに、450億円しか確保できないといふことです。

熊本委員 そのためには、統廃合といふ前提の下に、この15億円の範囲内で何とか建て替えていこうといふ話ですね。

土居室長 逆に言えば、15億円で確保できる施設の量といふのは、どのくらいかといふと25パーセントくらい削減しないと、建て替えられないといふことです。100と100の施設をつつにして150の施設にしましょう、といふのがこの計画です。今ある施設を全部25パーセント今すぐ壊して今ある施設だけでやりましょう、といふ計画ではなくて、建て替える時には、25パーセント縮減したもので造りましょう、といふことです。

熊本委員 今我々が、使用料・手数料を考へる時に、ある程度統廃合するといふ計画があつて、それをやっても使用料・手数料を取っていかないと、なかなか今までのサービスを維持できないといふ金額はどのくらいでしょうか。使用料・手数料としてどの位あれば上手いくのでしょうか。

土居室長 全て16の公民館を建て替えるのに8.4億円とすると、1館当たり平均して5億円の建て替え費用が必要になります。5億円を今後20年、30年のうちに皆さんから使用料で頂くことは

無理です。今、使用料として頂こうと考えているのは、普段から利用者の方にご不便をおかけしているところを直すとか、備品を補充するとか、今は予算として付けられない部分を少しでも還元できるようにしたいと思っています。

熊本委員 今、私どもが使用料を議論するのは、今使っている赤字がある部分を何とかしようということで考えれば良いでしょうか。

土居室長 建物の再配置と使用料の問題は別に考えていただきたいと思います。

蘇我議長 日本中、人口が減り、高齢者が増えるということは皆同じです。そこで知恵を使っていかなければならない。生産人口を多くしなければならぬ。魅力的なところになれば、人口が減ることは抑えられるのではないかと思います。教育長が言ったように、児童・生徒数が減ってきて学校を減らしていかなければならないのでしょうか。魅力的な学校だったら子どもたちを通わせたいと思うのではないのでしょうか。社会教育施設が良くないと住みたいとは思わないです。蔵書が豊かで素敵な図書館だったら行きたいです。公民館の施設が良いから公民館に行くのではなく、その中で何をやっているかだと思います。学校教育、社会教育が素晴らしいものになったら人が住むし、保育園がしっかり完備されれば女性は安心して働けると思います。

魅力的なまち、魅力的な社会教育ができるまちにしていくほうが良いのではないかと思います。お金を取っても公民館が全部直るわけではないですが、それでも魅力的な公民館にしていくにはどうするか、知恵を出し合って具体的にしていければ良いと思います。30年先は大きく変わると思います。時代が変わってきているので、中身を重視していったら良いのではないかと思います。

石村委員 今日のお話を聞いて、改めて考え直さないといけない時期が来ていると思いました。ただ、1 中学区 1 公民館というこのシステムを止めてしまうのはすごく残念だと思います。市は人口減少を食い止めるため、生産人口を増やすためにシティプロモーションでいっぱいお金を使っていると思います。でも、一番のシティプロモーションは住んでいる人が「ここいいまちだよね」、「私たちのまち、いいじゃない！」と思うことです。このキーポイントになるのが公民館などの施設に集う人のつながりです。予算も限られています、何にお金をかければ良いか、何が一番大切で、どうしたらこのまちが良いまちになるのかを考える時に、今までの流れを変えてしまうのは、とても残念だと思います。どんなふうにも変わっても根本はしっかり持っていきたいという思いです。

市民の皆さんに向けて、公民館はこう使えば良いというアピールを私たちもしていった方が良くと思います。必要だと思ってもらうことが大切だと思っています。

料金の問題ですが、私は使用料をもらうことには反対ではありません。公民館はいろいろな使い方をしている方がいると思いますが、お稽古事の一つのベースとしてあるなら、少しは取っても良いのかなと思います。

土居室長 基幹となる公民館が16ありますが、公民館活動を8つにするとは言っていないし、考えていません。1 中学校に1 公民館ということであれば「中学校に公民館機能を入れてください」ということです。館としてあるのは8ですが、地区でコミュニティの中心として学校が残らないといけない。その中に公民館活動という機能を入れていく。建物が無いと公民館活動はできないのですか、というのが考えの根底にあります。8つ「館」として造るところ以外に、中学校を建てる時に住民活動の中心・拠点として公民館機能を入れてください、ということ。往々にして、建物が無いとそのサービスができないと多くの方が仰います。建物がなくても建物を借りてやっても良いのではないかと思います。今まで社会教育活動に力を入れてきた木更津市ですので、社会教育を全然否定しているわけでもないし、8つの公民館でやってくださいということでもありません。

新しく学校、公民館を造る、統合する、再編する時には、素晴らしいものを造りましょう、といろいろなところで言っています。公民館も部屋貸し、集会だけではなくて、いろいろなものが楽しめる施設を造って、見本になるようなものになりたいと個人的には思っていますし、計画を作ろうと進んでいます。こういうものが公民館にあった方が良いということがあれば、また会議の中でお知恵を頂ければと思います。

石村委員 限られた予算の中で、何が大切なのかということを考えていかれると思います。費用負担は必要かもしれないし、今と同じものを維持していくには工夫をしていかなければ、これだけかかっ

てしまいますよと、仰っている。そうであれば魅力あるまちにするために知恵を出し合って良い形ができないかと思いました。

土居室長 建物がなくて住民サービスが低下すると思われています。でも、建物がなくても違う形での住民サービスは当然あるのだと思います。これからいろいろご意見を聞きながら、実行プランに入れていきたいと思っています。

蘇我議長 ハコがなくても魅力的な公民館を残していくためには、少しお金を出しても譲れない部分があると思います。それは社会教育主事です。これは必ずその公民館にいて、市民の相談相手になったり、先行きに対して物事を考えたりする。木更津市は各館に必ず1館に1人いるというシステムを作って欲しいです。「魅力的な」というのはそういうことだと思います。民間にやらせてしまうところは、貸館だけになってしまっています。貸館だけだと社会教育ではなくなってしまいます。魅力ある社会教育の拠点を置くことに力点を置いて欲しいと思います。

橋本委員 私は、社会教育は自分たちの手で自分たちの地域を作っていくという意識を地域住民が付けていくところだと思います。そういうことの話し合い、学習ができるような公民館事業が欲しいです。そしてそれができるような社会教育主事が欲しいです。

野中委員 前回、ソフト面での対応を積極的に実施していきたいというお話がありました。積極的にできる人は良いですが、それができない高齢者が問題だと思います。そういう人たちに声をかけていく地域のつながりが社会教育だと思います。公民館は立派なものでも良いので、学校の中にあるのではなく、皆が気軽に立ち寄れるものが必要かと思っています。やり方はいろいろあって、少し工夫があれば、利用する人はお金を出すと思います。自然にお金を出してくれるような温かいやり方が欲しいと思います。

榛澤委員 財政の状況がこういうことであれば仕方がないと思います。官民お互いに痛みを分かち合っていけば良いのかと思います。魅力がないと衰退していきます。皆さんで知恵を出し合って、魅力のある公民館づくり、地域づくりをしていければと思います。

板垣委員 私は、使用料は取っても良いと思います。町内会の公会堂も使用料を取って貸し出して、収入源として区の運営に充てています。金額的にも2,000円～2,500円位もらっているので、公民館も少しは取ってもよいのではないのでしょうか。ただ、今もらっていないものをもらうわけですから、「料金を払っているのだから」と権利意識が出て、わがままになる。不平も出る。そこはケアする必要があるのかと思います。

施設の再配置については、学校教育が削減されていくのであれば、社会教育施設も削減されることは仕方がないのかなと思います。ただ、もったいないとは思いますが。今まで1中学校1公民館、生涯学習都市宣言と今までやってきたものに影響が出てくるのではないかと思います。

安藤委員 私は9月頃からこのことについて考えてきて、公運審の要望書と同じ考えでした。原則無料を継続するのが一番だと思っていましたし、今でもそうですが、行革推進室のお話を聞いて、お金がない中、いくら理想論を言っても木更津市全体の利益にはならないのだろうということから、有料化もやむを得ないと思います。ただ、有料化する以上は何か担保的なもの、目に見える形で、蛍光灯の補充や修繕などをしてもらいたいと思います。これは口約束ではなく、「この使用料は特定財源に入り、その一部は公民館建て替え時の基金として充当する」とするならば、有料化もやむを得ないと思うようになりました。お金がたまる仕組みも作れば市民もすごく公民館に期待するし、お金を払っているからちゃんと使おうとか、文句ばかりでなくきちんとウィンウィンの関係ができれば「住みたいまち木更津」の追い風になるのではないかと思います。

結論として、今まで無料と言ってきた立場なのに、どうして変えたのかというのが今までのお話ですが、今日あれだけ「お金がない」と言われているのに、「原則無料」と言うのは人間としてどうだろうと思ったので。もちろんそれだけではなく、真剣に考えて、有料化はやむを得ないと思うし、その代わりはしっかりした根拠のある条例などを策定していただいて、公民館に還元するという仕組みをきつと作っていただけると信じています。

吉田委員 皆考えていることは同じで、ゴールは同じだけど、いろいろな考え方、道筋があるのだと感じられました。ハコがなければ社会教育ができないとは私も考えていませんが、中学校区に1つあるというシステムの内容は残して欲しいと思います。そのためには人を育てる、職員の資質を上げて欲しい。社会教育主事を置くといっても、ただ名前が付いているだけという場合もあるので。そして、木更津市の職員が皆、木更津市を良い市にしようという意欲を持っていただきたいと思います。

います。教育委員会は教育のことだけ考えていけばいい、生涯学習課は社会教育だけを考えればいいということではなく、金田公民館のことに関しても、課の垣根を取り払い、風通しを良くして、意見を交換して、ソフト面を大事にさせていただきたいと思います。学校との複合施設はぜひやって欲しい。皆で知恵を出し合って良い方向にいったらいいと思います。

李委員 初めて中国から来たとき、公民館はすごいと思い、進んでいると思いました。それから20年経って、公民館の欠点も見えるようになりました。日本人は物を大事に使うから、公民館も利用者は綺麗に掃除もして大事に使っています。でも、ずっと同じでは良くない。新しくなれば新たな展開がある。社会教育委員会議でも知恵を出し合えばいいと思います。

平田委員 社会教育委員になった頃に、一度有料化の話があって協議したことがありました。私はその時も、使用料は取れば良いと思っていました。ハコモノは市役所が造ってくれますが、市民全員が使うわけではないので、使った人が使っただけの負担を持つのは当たり前だと思っていました。電気、トイレトーパー、水道など、使った人には使っただけのことが発生すると私は考えていましたから。でも、皆さん社会教育のことを考えた時に、マイナスのことを考えたらやはりここは譲れないので、「無料ということで市役所にお願ひしましょう」ということに当時はなつたと記憶しています。

前回、定例会を欠席して、会議録を拝見したのですが、やはり皆さん無料ということにこだわっているのだと思いました。でも、市役所はお金がなくて庁舎を建て替えられないことを皆さんも良くわかっているのだったら、使った人間が、かかるものに対して払うのは当たり前ではないかと思ひます。公運審の要望書を見させていただいて、公民館の近くにいる人たちは、社会教育が衰退していくことを恐れ、お金を取ることにこれだけこだわっている。でもそんなに高い料金ではないのですよね。減免措置もあるのであれば、払っていただける団体には払っていただいて、今の状況、より良い状況が続くということが良いのではないかと思ひます。公民館を建てた頃の木更津市の状況とは違ひます。中学校区の一つを建てた時代の生活と、車がこれだけ使えるようになった状況では生活スタイルも違ひます。全体的な変化を頭に浮かべて対応していくことは悪いことではないと思ひます。

城戸委員 公民館がいっぱいできた時は、いろいろなところにお金を使った時代です。誰も先のことを考えずにお金を使った時代でした。今はそれができない。私は公民館の使用料は出して良いと思ひます。回りの何人かに聞いたら皆出して良いという人ばかりでした。出したくないという人は誰もいませんでした。バスもお金を取ったら良いという意見も出ています。私たちは良かった時代のことを土台に考えているから、いろいろなことが出てくると思ひますが、固定観念を捨てて自由な発想で物事を考えた時には、マイナスもプラスだと思ひます。

公民館に何ができるか、木更津市に何ができるか、ということを考えるのが私たち社会教育委員ではないかと思ひます。ハコモノがあるから立派な教育ができるわけではない。良いことだけに良いものが育つわけではなくて、マイナスの中でも良いことがたくさん出てきます。一旦は衰退するかもしれませんが、そこで皆が考えを改めて、いろいろなことを考えて、また立ち上がれると思ひます。使用料を払うことを100人が100人、オーケーとは言わないでしょうけれど、そういう人に何か良い説明ができて、協力してもらおうようにしたらどうかと思ひます。公民館をただ利用するだけではなく、私たちが公民館をどう使いやすく明るくするか、そういう心を育てて、意識を変えていくことができれば、素晴らしいまちになると思ひます。

内田委員 使用料の件については、基本的には有料化で良いと思ひます。ただし、公民館主催事業は無料にさせていただきたいと思ひます。また、社会教育主事のような運営する職員を置いて、地域の人に提言し、いろいろなものについてまとめるようにさせていただきたいと思ひます。

公共施設再配置については、一律に減らすのではなく、圧縮できるところは圧縮して、残さなければいけないところは残す。施設だけではなくソフト面も含めて計画させていただきたいと思ひます。建て替えの時期がきたら、中学校単位で今のシステムを残した中でやっていただくような方向性を引き継いでいただければ納得できるのではないかと思ひます。

地曳委員 先ほど、室長が「建物がなくても社会教育の機能はできます」と言いましたが、それは室長の個人的見解ではなく、整合性がある話なのですか。

土居室長 再配置計画は小中学校との複合化を基本とする、というのは教育委員会と整合を取ったものです。

地曳委員 施設がなくても公民館としての機能、地域コミュニティの機能はどんな形でもできると仰いましたが、それは、当然、教育委員会との整合性がある上に成り立った発言ですか。

土居室長 木更津市で出していますから大丈夫です。整合性は取っています。

小中学校、公民館を、それぞれに建設はできないから一つにして、コミュニティの中心としての機能を担ってもらいましょう。その中で、ソフト面として公民館が機能として入る分には良いのではないのでしょうか、というのは進めています。

ハコがないとサービスが成り立たないと今までは皆さん仰っていました。そうではなくて、ハコがなくても違う形でサービスはできるのではないかと思います。そういうことは十分考えながら再配置計画は作っています。

青木委員 金田地域交流センターもそういう形ですか。

土居室長 社会教育の機能は持つということです。

蘇我議長 違う方向に行きそうな時は、またこの会議で良い方向に行くように考えていきましょう。

熊本委員 あまり使用料、手数料にこだわると、「掃除ができていないよ」「もうちょっと明るくして」とか、そういうことのために皆さんがお金を払っていると思うとちょっと違うのかなと。もう少し広く木更津市の社会教育のために、使う皆さんが協力してください、という感じで取ったほうが良いかなと。

蘇我議長 要するに、木更津市の社会教育を良くするためにお金を使うわけですから。そういう大前提で、良い方向にいかないと、おかしくなります。

他にはご意見はないでしょうか。ないようでしたら、秋元課長から一言いかがでしょうか。

秋元課長 有益な議論をありがとうございました。

これから魅力ある主催事業をどう作り出すか、そこに有資格者がどう関わって住民の信頼を受けていくかというところが、私たちに課せられたことだと思っています。公民館はハコモノではなく生き物だと言います。要するに部屋を貸すということが主ではなく、定期講座をやったり団体との連絡調整だったり、いろいろなことで地域をつくり、人をつくり、自治を生み出すというようなことをこれからどんどんやっていきたいと思っています。その上で、どうすれば魅力ある公民館運営ができるのか、社会教育の資格を持った職員が公民館には必要ということであるなら、その人に何を期待するのか、そのようなことも含めて、資質が足りないということについては、我々も含めて研修などをやっていかなければなりません、社会教育委員の皆さんともいろいろ議論を重ねたいと思います。

有料化のことについても、この後3月に定例会がありますが、減免のことなど踏み込んで皆さんのご意見を伺いたいと思います。また金田地域交流センターのことについても、進捗状況などをお話していきたいと思っています。少なくともこれまで金田公民館がやってきたことは将来持続的に継承していけるような仕組みを教育委員会として作っていきたいと思っています。

蘇我議長 ありがとうございました。使用料・手数料等の見直しについては以上で終了したいと思います。

なお、皆様のご意見については、次回までに建議として取りまとめたいと思います。

次にその他です。事務局何かございますか。

事務局 それでは、平成29年成人式のご報告をいたします。

報告

議長 他にはよろしいでしょうか。ないようでしたら、以上を持ちまして、「平成28年度社会教育委員会臨時会」を閉じさせていただきます。皆様の協力で本日の臨時会を無事終了することができました。ありがとうございました。

司会 長時間にわたり貴重なご意見をいただきありがとうございました。

また今後とも、本市の社会教育活動推進のため、委員の皆様にはなお一層のご支援・ご協力をお願いいたします。